

煌け! 登美北

平成27年4月24日(金)
奈良市立登美ヶ丘北中学校
生徒指導だより No.2
文責:三間瀬 充宏

美しい環境の中で爽やかなあいさつ、笑顔であふれる登美北へ!

朝、昇降口で生徒会本部役員の人達が笑顔であいさつをして迎えてくれています。これは、今年の1月の生徒総会(1年生の人達は入学前なので知らないですが)で提案された方針1(上記の標記)に基づく「朝のあいさつ運動」の取組です。生徒会の人達が花植えを行っているのもその方針の一つである「花いっぱい活動」によるためです。専門委員会もそんな生徒会本部の人達に協力すべくこれからいろいろな活動に取り組んでいきます。君達も生徒会本部役員の人達に負けぬように「美しい環境の中で爽やかなあいさつ、笑顔であふれる登美北」を創っていきましょう。

生徒会の人達の「あいさつ運動」はこれからも続きます。生活委員会も近々あいさつ運動を始めます。君達も負けずに大きな声であいさつをしましょう。

関係のない話ではありません・・・身近な危険

最近新聞にインターネットに関わる記事が載らない日はありません。技術の進歩であったり、犯罪であったりと、内容は様々です。それだけ、インターネットが生活に深く関わっているといえるのかも知れません。右の記事はそんな世相が反映されたものだと思います。被害にあうとは誰も思っていない。しかし、その入り口のハードルは意外と低いのです。

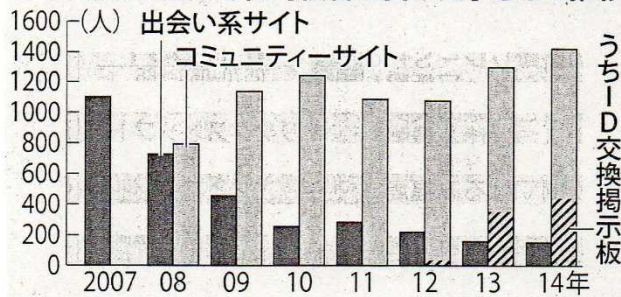
君達には、「インターネットセルフルールブック」を渡しましたが、お家の人と話し合ってくれたでしょうか。もし、まだなら一度話し合っただけでネットトラブルに巻き込まれないルールをお家の人と決めましょう。

お家の方へ

この記事の中に、「7割以上が両親名義の電話を使っていた」・「保護者から利用の注意を受けていなかった」などが記述されていました。中学生はスマホなどの操作は大人以上にできますが、その危険性については知識がなくまったくの無防備です。ネットトラブルに子どもが巻き込まれることがないように、使い方に十分な注意を払っていただけたらと思います

警察庁は16日、2014年にインターネットのコミュニティーサイト(交流サイト)がきっかけとなった性的な事件の被害者となった18歳未満の子どもが1421人いたと発表した。統計を取り始めた08年以降で最多で、全体の8割近い1118人がスマートフォンを使っていた。サイトの危険性について保護者から注意を受けていなかったケースも半数を超えており、担当者は「友人がやっているからと危険性を知らずにサイトを利用して被害に遭っている」と指摘している。
【長谷川豊】

サイトがきっかけで性的被害を受けた子どもの推移



2015年4月16日(木)
毎日新聞(夕刊)

交流サイト1421人 性的被害

18歳未満 8割、スマホ利用

昨年